2016年7月に公開されたMS Office用のセキュリティ更新プログラムの影響の現象と原因について

2016年7月に公開されたセキュリティ更新プログラム (3170008) によって、EXCEL転送が出来なくなった現象について解説しています。

1.1 発生する現象について

軽技Webの検索条件の「EXCEL転送」 - 「転送形式」が「標準」のEXCEL転送において、EXCEL内に表示されてた検索結果が、2016年7月に公開されたMS Office用のセキュリティ更新プログラム(3170008)が適用されたのちに、EXCEL2010以上をご利用の場合、検索結果が表示されなくなる現象が発生致します。

以下にMS Office用のセキュリティ更新プログラム (3170008) 適用前と適用後の動作について記します。

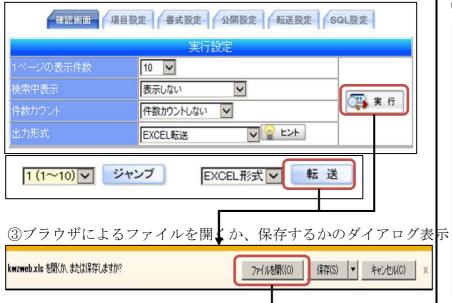
- ※軽技Web Ver6.4.1をベースにご説明いたします。
- ◆EXCELの「保護されたビュー」の設定内容によって、現象の発生が依存します。

1.1.1 MS Office用のセキュリティ更新プログラム (3170008) 適用前の動作について

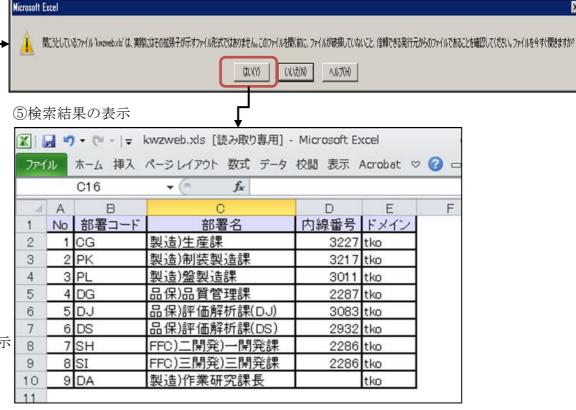
①検索条件の「転送設定」-「EXCEL転送」にある「転送形式」が「標準」の設定



②EXCEL転送による出力の実行

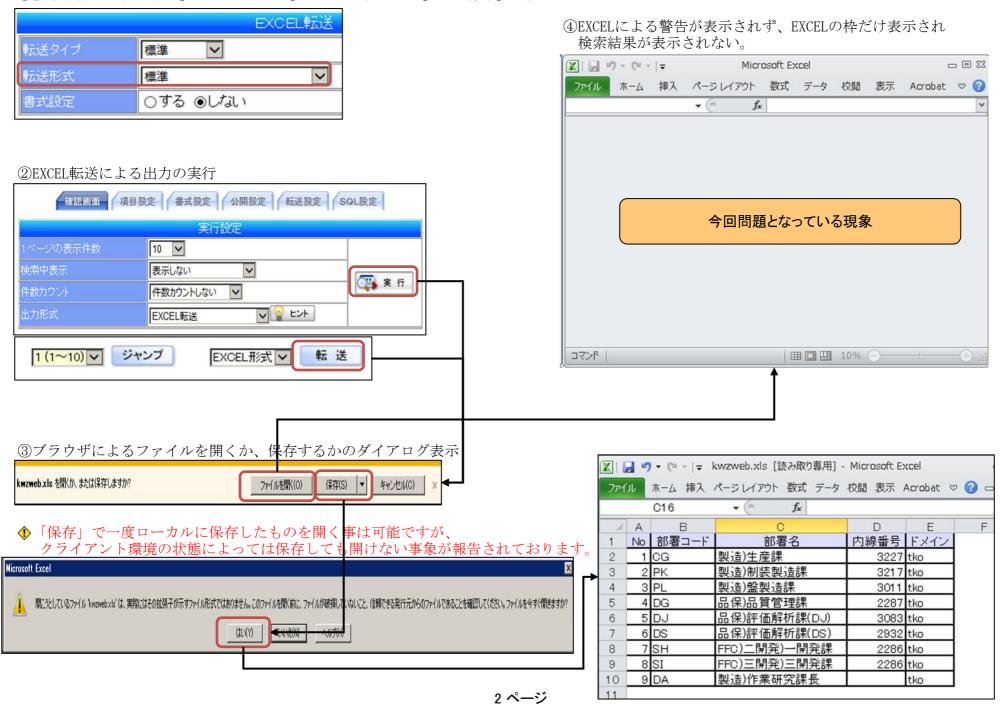


④EXCELによる警告の表示



1.1.2 MS Office用のセキュリティ更新プログラム (3170008) 適用後の動作について

①検索条件の「転送設定」-「EXCEL転送」にある「転送形式」が「標準」の設定

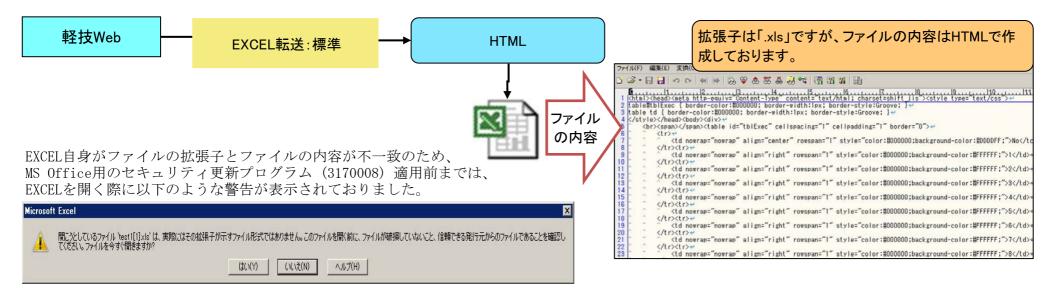


1.2 発生現象の原因と発生条件について

2016年7月に公開されたMS Office用のセキュリティ更新プログラム(3170008)の問題の原因について記します。 本現象の原因について、ご説明する前に軽技Webの「EXCEL転送」の「転送形式」である「標準」の構造についてご理解頂く必要がございます。

1.2.1 転送形式:標準によるEXCEL出力の内部構造について

軽技WebではEXCEL転送を標準で行った場合に、HTTPプロトコルにて検索結果をHTML形式のデータとしてクライアントへ送付し、拡張子を「.xls」に指定してEXCEL出力を行っております。



なお、軽技Web Ver4及びVer5をご利用のお客様は、「転送形式」の設定項目自体はございません。 軽技Web内部で固定で「標準」でEXCEL転送を行っております。



1.2.2 検索結果が表示されない原因と発生条件について

2016年7月に公開されたMS Office用のセキュリティ更新プログラム(3170008)に含まれる、以下のKBが適用されることによって、EXCEL2010以上では EXCEL自体のセキュリティ強化による仕様変更が加えられため、以下の条件を両方満たす場合にファイルの内容と拡張子が一致しない場合は、 内容を表示しない仕様変更が原因となります。

- ◆本文章ではEXCEL2010の場合を例にご説明いたします。
- ◆各EXCELのバージョンがサポートしているWindows OSバージョンが対象となります。

条件①:クライアント端末のEXCELに右記のセキュリティ更新プログラムが適用されていること対象製品:EXCEL2010以上の全てのEXCELバージョン

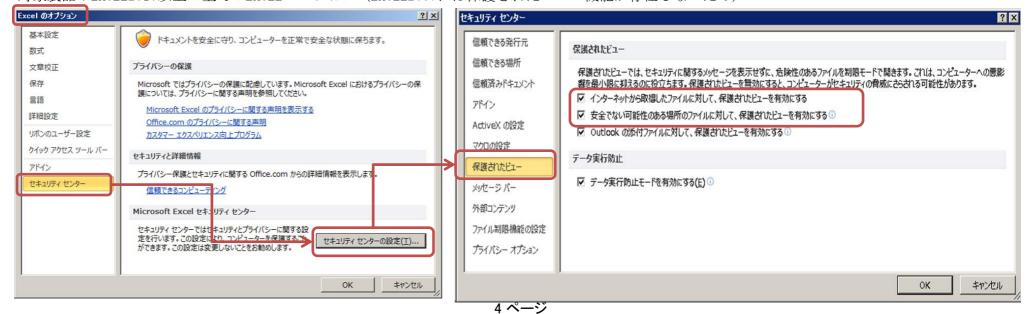
問題となるEXCELのセキュリティ更新プログラム	
EXCELのバージョン	更新プログラム名(KB)
EXCEL2010	KB3115322
EXCEL2013	KB3115262
EXCEL2016	KB3115272



条件②: Excelのオプション設定内の[セキュリティ センター]-[セキュリティ センターの設定]-[保護されたビュー] 設定において、 以下の 2 つのオプションが有効になっていること(EXCELのデフォルト値は全て有効になります)

- ・インターネットから取得したファイルに対して、保護されたビューを有効にする
- ・安全でない可能性のある場所のファイルに対して、保護されたビューを有効にする

対象製品: EXCEL2010以上の全てのEXCELバージョン (EXCEL2007には保護されたビュー機能が存在しないため)



2016年7月に公開されたMS Office用のセキュリティ更新プログラムの影響の回避策について

3011 tko

2287 tko

3083 tko

2932 tko

2286 tko

2286 tko

tko

MS Office用のセキュリティ更新プログラム(3170008)の影響の回避策について説明いたします。

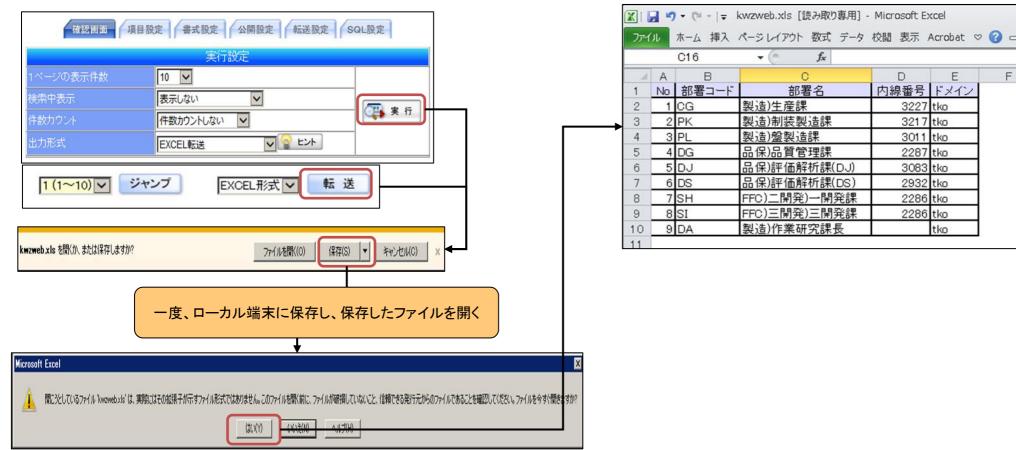
MS Office用のセキュリティ更新プログラム(3170008)の影響の回避策について

誠に申し訳ありませんが、現行の軽技Webでは全てのバージョンにおいて、軽技Web側の設定などで回避する方法はございません。 お手数ではございますが、運用での回避策かEXCEL自体の設定変更による回避策をご検討頂くようお願い申し上げます。

2. 2. 1 運用での回避策について

運用回避策としては、ユーザー操作の変更となりますが、クライアントに表示される IE の通知バーにおいて、「開く」を選択するのではなく、 明示的に「保存」を選択いただく方法になります。

◆クライアント環境の状態によっては保存しても開けない事象が報告されております。 保存しても開けない場合は誠に申し訳ありませんが、EXCEL自体の設定の変更による回避策をご検討ください。



Excelのオプション設定内の[セキュリティ センター]-[セキュリティ センターの設定]-[保護されたビュー] 設定において、以下の 2 つのオプションを無効に変更する。

- ・インターネットから取得したファイルに対して、保護されたビューを有効にする
- ・安全でない可能性のある場所のファイルに対して、保護されたビューを有効にする



◆Excelの既定値としては、上記保護されたビューの設定は有効になっているものであるため、本設定を無効化し運用することで生じるセキュリティリスクについては、お客様判断の上、ご対応をご検討ください。

2.2.3 マイクロソフトの技術情報のご案内

以下に本現象に関するマイクロソフト社の技術情報のサイトを記しますので、詳細についてはマイクロソフト社の技術情報を参照してください。

タイトル: マイクロソフト セキュリティ情報 MS16-088 - 緊急

Microsoft Office 用のセキュリティ更新プログラム (3170008)

アドレス: https://technet.microsoft.com/ia-ip/library/security/ms16-088

タイトル: 保護ビューとは

アドレス: https://support.office.com/ja-

jp/article/%25E4%25BF%259D%25E8%25AD%25B7%25E3%2583%2593%25E3%2583%25A5%25E3%25BC%25E3%2581%25A8%25E3%25B1%25AF-

d6f09ac7-e6b9-4495-8e43-2bbcdbcb6653?ui=ja-JP&rs=ja-JP&ad=JP